※令和３年度以前入学生用

学校番号	3020

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	財務会計Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	ネットスクール出版　使える財務会計Ⅱ　編者　桑原知之						
副教材等	ネットスクール出版　全商会計実務検定対応　使える財務会計Ⅱ問題集　編者　桑原知之						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年・２年で学習した簿記会計の知識をベースに、企業会計に関する法規や基準にもとづいたより深い会計について学習します。満期保有債券の評価や退職給付会計で用いられる時間価値の考え方をはじめ、リース会計や外貨換算会計、さらには連結会計といった広く用いられる取引の処理の考え方を身につけていきます。会計について深く学習し、実社会に出て大いに活躍できるようがんばりましょう。簿記の知識技術が基礎になるので、必ず簿記の復習をしておいてください。計算力も必要になるので電卓等で計算能力を高めておきましょう。

２　学習の到達目標

財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義と制度について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	財務会計および監査について関心を持ち，その理論と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに，会計情報を提供し，活用しようとする態度を身につけている。	なぜ，そのように考えて会計処理を行うのかなど自ら思考を深め，高度な知識と技術を活用して適切に判断する能力を身につけている。また，その成果を適切に表現することができる。	新しい会計基準に関する会計処理の技術を身につけ，ビジネスの諸活動を計数的に把握し，的確に提供・活用することができる。	新しい会計基準やその処理に関する知識を身につけ，財務会計の基本概念や監査について理解している。
評価方法	学習状況の観察 小テスト 課題提出状況 定期考査	学習状況の観察 小テスト 課題提出状況 定期考査	学習状況の観察 小テスト 課題提出状況 定期考査	学習状況の観察 小テスト 課題提出状況 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期 前半		財務会計と会計基準 資産の評価 期末棚卸資産(商品)の評価 有価証券	○	 ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:会計法規と会計基準を理解できる。 b:財務諸表の構造を理解している。 c:仕訳ができる。 d:現在価値の考え方が理解できる。	定期考査 小テスト 問題集・ プリント課題 等
1学期 後半		固定資産 減損会計 無形固定資産 負債会計 リース会計 外貨換算会計		○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:会計法規と会計基準を理解できる。 b:財務諸表の構造を理解している。 c:仕訳ができる。 d:現在価値の考え方が理解できる。	定期考査 小テスト 問題集・ プリント課題 等
2学期 前半		純資産会計 企業結合 連結会計		○ ○ ○	○ ○ ○		a:会計法規と会計基準を理解できる。 B:財務諸表の構造を理解している。 c:仕訳ができる。 d:現在価値の考え方が理解できる。	定期考査 小テスト 問題集・ プリント課題 等
2学期 後半		持分法 在外支店 キャッシュフロー計算書 税効果会計		 ○ 	○ ○ ○ ○		a:会計法規と会計基準を理解できる。 b:財務諸表の構造を理解している。 c:仕訳ができる。 d:現在価値の考え方が理解できる。	定期考査 小テスト 問題集・ プリント課題 等
3学期		財務諸表の活用 監査と職業会計人	○ ○	○ ○			a:会計法規と会計基準を理解できる。 b:財務諸表の構造を理解している。 c:仕訳ができる。 d:現在価値の考え方が理解できる。	定期考査 小テスト 問題集・ プリント課題 等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解